

# 全圧連会長に佐藤氏

## 山形・ヤマコン社長「役目を果たす」

全国コンクリート圧送事業団体連合会（全圧連）は27日までに、臨時理事会をオンラインで開き、長谷川員典会長の死去に伴い、新会長に副会長だったヤマコン（山形市）の佐藤隆彦社長（57）を選



写真Ⅱを選んだ。

全圧連は全国のコンクリート圧送工事業者団体で組織し、正会員数は27団体479社、賛助会員数は14社。佐藤社長は現在、東北生コン圧送連合会長、県コンクリート圧送協会会長を務め、全圧連では常務理事なども歴任した。

山形新聞の取材に対し、佐藤新会長は「東日本大震災以降の10年で圧送業は認

知度が高まり、社会的地位が向上している。構造体を支えるコンクリートは重要で、引き続き技能者（職人）の技術力と施工品質の向上に努める」と決意を語った。一方で職人の高齢化、減少が進んでいるといい、「上部団体とも連携し、中長期的視点で若手入職者の増加に取り組む」と話した。さらに「全国的に事業承継が進み、経営者が創業者世代から2代目世代に移っている。彼らの期待にも応えるため役目を果たす」と述べた。

就任は今月10日付で、1期目の任期は長谷川前会長の残存期間となる2023年度の総会まで。同社の佐藤勝彦会長も2005年から10年間、全圧連会長を務めた。

（菅原武史）